

自分の命は自分で守る

【東日本大震災から10年】

3月11日は東日本大震災から10年。多くの人の命を奪い、今も苦しんでいる人がたくさんいるこの災害を風化させないようにと、旗は半旗とし、2時46分には全校で黙とうをささげました。この災害の教訓を生かし、今後も防災教育に力を入れていきます。



【交通事故から身を守る】

先日、9日に呉市内の小学1年生が下校中に車と衝突するという交通事故が発生し、本校においても全学級で交通事故防止に向け指導を行ったところです。

昨日も重ねて指導を行い、下校時には見守りを行いました。多くの児童にとってはやはり他人事のようです。危ないと思うのは、次のような場面です。

①歩道から車道におりる時がある。②狭い歩道を道いっぱいになって歩くため車道に下りてしまう。③急いで走っている時や、おしゃべりをしながら歩いている時は、周りが見えにくい。

そこで、本日は、1年生が実際に歩道を歩く練習をしました。横断歩道を渡ったり、横断歩道はないけれども横の道と交差するところを歩いたりして、「**必ず立ち止まる」「左右をよく見る」「車がないか、完全に止まっているか待つ**」ということを中心に指導しました。雨が降り始めたため、傘をさして歩く練習もしました。ご家庭においても、子供の命を守るために、お子様の歩き方を確認し、具体的に危険場所を想定しながら指導を行ってください。お願いします。



複雑で車が見えにくい交差点



横断歩道がない横道との交差点



車道に飛び出すと危険な狭い歩道



保育所前 信号のある横断歩道



学校前 信号のない横断歩道